

新市立病院整備市長タウンミーティングにおける意見概要

会場：彩都の丘学園 3階 多目的室

令和4年12月23日 午後7時開催

No.	ご意見・質問内容	回答内容
1	気になっていたことが解消できた。ここまでの検討において、職員も大変苦労したことと思うが、画期的な方策を検討してもらえて感謝する。	基本構想（案）に対しお褒めの言葉をいただきありがとうございます。箕面市では健康寿命の延伸の取り組みを行っており、健康寿命を平均寿命へなるべく近づけられるよう、大阪大学、地域と連携しながら新病院を整備していこうと考えています。老朽化への対応だけでなく、持続可能で質の高い医療を提供できるように、地に足のついた病院整備を進めてまいります。
2	市立病院にかかるためには、地域の医療機関から紹介されて受け入れてもらうことが基本だと思うが、彩都には現在約7,500人が居住しており、今後マンション建設の予定もある中、医療機関がない。車を運転できる人は良いが、できない人は苦労している。新型コロナに関する診察や、ワクチン接種も彩都地域内ではできない。かかりつけ患者以外のワクチン接種はやっていないという病院もある。小中一貫校もあり、子どもも多いのに、医療機関がひとつもない、受け入れてくれる病院がないというのは問題だと思う。アクセスの利便性の改善も検討してもらいたい。	現在、大阪大学の14haの跡地利用として、10haのデータセンターと4haの住民交流施設の整備を検討しています。住民交流施設には、カフェや集会所、クリニックを誘致できる方法を優先交渉権者と協議していく予定です。箕面森町のまちびらきの際も内科、歯科の誘致が課題でしたが、ようやく整ってきました。彩都地区でも医療機関の誘致の声が多いことは認識していますので、医師会にも働きかけていきます。